

金曜 ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



70歳の免許更新へ 初心忘れず

今年1日、道路交通法が改正されました。「携帯電話使用等対策の推進を図るための規定の整備」で、運転中のスマートフォンの使用、いわゆる「ながらスマホ」によって交通事故が増加し、さらに悲惨な交通事故が発生していることが背景だそうで、罰則を強化するものです。

確かに携帯電話などを耳にして話しながら運転している人を見かけ、怖いなど思うことがあります。昨今はハンズフリーの便利な機器もたくさんあるので、そこへの投資も必要です。私はカーナビと連動した仕組みで受信できるようにし、さらに運転中にかかってくるときは速やかな停止を心掛けています。

来年4月に免許の更新時期を迎えます。この時ちょうど70歳なので、誕生日の5カ月前から1カ月後の半年の間に「高齢者講習」を受けなければなりません。先日その案内が届きました。さっそく最寄りの自動車教習所に電話して日程調整し、それなりに緊張しながら当日を迎えました。私が免許を取ったのは40年以上前で、久しぶりの教習所は車も新しく、ロードヒーティングが施されているのか、路面に雪もなく大変快適です。

受講者は12人のおっちゃん、おばちゃん、おまけに指導員も年配の方ばかり。内容は実車と座学、動体視力と夜間視力の検査です。

私は実車から開始、3人で1台に乗り込みます。先陣を切る私はミラーの角度を調整し、助手席の指導員の合図でコースに。交差点、車線変更、S字カーブ、バック駐車、直線の速度アップなど指示に従って走ります。所内の他の車はまだ免許取得前で、高齢者の方が上手なのでしょう。「いいね、いいね」との指導員の声に気をよくしました。座学では教本とビデオを用いて、特に注意すべき点を念押しされました。

初めて免許を取った頃のことを思い出し、さらに年齢を重ねた自分の現在位置が確認でき、大変良い経験でした。近年の少子化の影響か、高齢者に対して、教習所が大変優しいと感じました。

初心を思い出せば、あおり運転や、ブレーキとアクセルの踏み間違ひなど起こるはずはないと思えますが……。ここで手にした「運転免許取得者教育終了証明書」を持って、誕生日の1カ月前から1カ月後までの2カ月間に更新に行くこととなります。

冬になり、路面がいてつき非常に滑りやすくなっています。道路わきの雪山も視界を悪くし、子供などが飛び出してこないか、細心の注意が求められます。「注意一秒、ケガ一生」の標語を忘れないようにしたいものです。